

Q8

DPT ワクチンは1回毎に腕を変えて接種した方がよいのはなぜでしょうか。

A

DPT ワクチン接種後にはアルミニウムゲルが局所に留まり、硬結が1カ月くらい残存することがあります。ワクチンは20日から56日までの間隔（いわゆる3～8週間間隔：参照 p3）をおいて接種を受けるので、その時にはまだ硬結が残っている場合があります。乳幼児の腕は細く、硬結を避けて接種することは困難です。また同じ腕に続けて接種すると腫張の頻度が高まる場合もありますので、前回と反対側の腕に接種してください。硬結がなくとも交互に接種することがリスクを下げるという意味で原則です。